

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公表番号】特表2007-500477(P2007-500477A)

【公表日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-001

【出願番号】特願2006-521935(P2006-521935)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月3日(2008.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

A R Qモードが「0」の場合、セクタは、バイポーラキーイング、すなわち $+1 \Rightarrow A C K$ 、 $-1 \Rightarrow N A K$ を用いて、リバーストラヒックチャネルパケット送信の第1、第2又は第3のサブパケットの受信に続いてフォワードA R Qチャネルを送信するが、それはフォワードチャネル上のサービス中のセルの一部である場合であって、それがフォワードチャネル上のサービス中のセルの一部でない場合、A C K志向のオン・オフ・キーイング、すなわち $+1 \Rightarrow A C K$ 、 $0 \Rightarrow N A K$ を用いる。A R QモードはリバーストラヒックチャネルM A Cプロトコルの公衆データである。